

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

Vol.
144
2025年
5月
発行号

60th
Anniversary

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中!(毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて
当社お天気フィラーTVCMをリニューアルして放映中!(毎週月曜日6時30分頃)

▼当社の隣に位置する水戸教公園の平和記念碑
日本海と新潟港を一望に見渡せます



今月のトピックス

- I. シゲル文英会 役員会開催
- II. 第38回プレジデントカップ開催
- III. アトミクス株式会社様 研修会実施

I. シゲル文英会 役員会開催



5月中旬に、当社協力会・シゲル文英会の役員会を開催しました。当社社員及び協力会社様で構成する役員17名が参加しました。冒頭、今期より新任された役員の紹介が行われました。続いて前年度の事業報告、新年度事業案等の承認が行われました。また、毎年シゲル文英会の会員の皆さんから応募を募っている安全標語の最終選定も行われました。来月6月のシゲル文英会主催の安全大会にて、安全標語の最優秀賞を発表の予定です!!

【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレーション
社長の増村文武です。

5月も中盤となり、いよいよ夏の到来を予感させるような陽気となってきました☀

6月からは法規も変更となり、職場における熱中症対策が事業者の義務となり、罰則付きで施行となりますね💡 弊社も外仕事が多い中で、社員、協力会社の皆さんを熱中症から守る対策をより強化し、業務を進めてまいります。

合わせて、弊社の主力分野であります防水工事と合わせて、熱波対策に有効な屋上、屋根の付加価値改修提案も行っています。今後、遮熱対策等の提案バリエーションをより充実させて、お客様に御紹介をしていく予定です。漏水対策と合わせた建物の暑さ対策についても、ご相談をお待ちしております。

II. 第38回 シゲル・コーポレーション プレジデントカップ開催

4月26日(土) 紫雲ゴルフ倶楽部にて、当社が主催する恒例のゴルフコンペを開催いたしました。当日は、春らしい暖かな陽射しに包まれた絶好のゴルフ日和となり、ご参加いただきました34名の皆様と共に、心地よい気候の中で伸び伸びとプレーを楽しむことができました。プレーを通じて自然と会話も弾み、普段はなかなか接する機会のない方々とも交流を深める貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。



III. アトミクス株式会社様 研修会実施



▲研修会の様子



▲アトミクス(株) 川島様

5月中旬、アトミクス株式会社 川島様にお越し頂き、長寿命化への貢献をテーマとした研修会を実施しました。アトムレイズの遮熱防水工法による長寿命化への貢献として、長寿命化とは建物を劣化させる要素(水と熱)を侵入させないこと。すなわち、防水・遮熱が重要であるといった観点から防水だけではなく防水と遮熱機能をあわせて施工することの重要性を紹介されました。また、令和7年6月1日より法令施行、義務化される職場の熱中症対策についてもあらためて紹介いただきました。お客様の職場環境を熱波から守るために当社提案を行う上で、たいへん有意義な研修会となりました。

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

連載第84回 今月のテーマ

『 男は愛する者のため、命を賭けて鬼と化す 』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

ついに公開日がやってまいりました!!!『ミッション:インポッシブル/ファイナル レコニング』 シリーズ第8作目にして恐らくこれが最後の作品となるでしょう💡

第一作目公開からはや30年近く、諜報機関IMF所属イーサン・ハントの集大成≡映画人としてのトム・クルーズ自身の集大成、と言っても過言ではないかもしれない本作👑 上映時間約3時間ということですから、上映中の飲み物配分に注意し万が一にもよおしてトイレに立つことのないように準備万端な心構えで本作と対峙してこようと思っております💪

さて、連載第84回目、今回のテーマは、『 男は愛する者のため、命を賭けて鬼と化す 』と題しました💡

愛するもの、守るべきもののために、修羅、鬼と化す男の壮絶な生きざまを描いた、観ている我々も頭の血管が切れそうな3作品を御紹介👑

★今月は書籍の御紹介(イラストはお休み) AIについての驚きの本質を知りたいのなら、この上下巻で決まりです💡
ユヴァル・ノア・ハリ著の最新作『NEXUS 情報の人類史』 只今読み進めておりますが難しい、けれど内容圧巻!!
まさに知の塊📖

📺 No.247『ただ悪より救いたまえ (2020年 韓国映画)』

主人公の凄腕暗殺者インナムは、東京の極道組織の重要人物コレエダ殺害の依頼を受け暗殺に成功、これが最後の裏社会での仕事と考え、その後は静かに引退生活を送ろうと考えていましたが、ほどなく別れた妻がバンコクで殺害され、さらに別れた後に生まれたインナムとの幼き娘も行方不明だと知らされます💡 韓国からバンコクに渡り娘を捜索するインナムですが、凶暴極まりないレイという男が現れ彼の命を狙います💡 レイはコレエダの弟であり、復讐の鬼と化した中でインナムを追い詰め、インナムがやっと探し当て、愛というものを思い出させてくれた娘の命にまでその矛先を向けていくのでした... インナムを演じる実力派俳優ファン・ジョンミンの渋い抑えを効かした鬼演技が心根に刺さります💡 敵役となるレイを演じたイ・ジョンジェの暴走狼的役作りも圧巻👑 2人の男の壮絶な攻防戦は終盤に向けて加速度的に目が離せなくなります👑 イ・ジョンジェといえば『イカゲーム』の主演俳優ですが、本作の怪演ぶりに驚愕💡 そして、インナムを手助けするトランスジェンダーのユイがまた憎めなくて最高👑 韓国ノワール映画の最新形態を存分に楽しめます🎵

📺 No.248『モンキーマン (2024年 アメリカ映画)』

本コラム第68回目で紹介した『スラムドッグミリオネア』👑 この作品で主演を演じていた華奢なあの少年デーヴ・パテールが、しびれるほどに逞しい本物の男となり、そして本作では主演のみならず自らメガホンをとって監督業も兼務した意欲作💡 舞台は恐らくインドの架空都市でしょうか? 警察をも巻き込む捻じ曲がった権力が横行し、貧富の差に歪んだ都市の地下格闘技でゴリラの覆面を被り、いつもやられ役に徹する主人公キッドのリングネームは"モンキーマン"💡 彼は幼い時、最愛の母を、宗教指導者と癒着する警察幹部のラナに理不尽な理由と残忍な方法で殺されてしまいます それ以来心の奥底でラナへの復讐の時をずっと待ち続けていたキッドでしたが、ある時ラナと宗教指導者のアジトに潜入し接触できる機会を得ます💡 やられ役だった"モンキーマン"はついに自らの殻を破り、亡き母のためにまさに鬼と化す復讐劇が幕を開けるのですが... 痛み全開、リアルを追求したパワフルなアクションと、時にセンチティブ、時に大胆な映像表現も新感覚💡 細身の筋肉マッチョに見事に進化した男、デーヴ・パテールの吹っ切れた熱演、最高です💡

📺 No.249『泣く男 (2014年 韓国映画)』

タイトルの"泣く男"、それだけでインパクトありすぎ💡 主演は『ブラザーフッド』のチャン・ドンゴン、監督・脚本は本コラム第80回目で紹介した『アジョン』を手掛けたイ・ジョンボムということで、面白さが約束されたような制作布陣💡 ドンゴン演じる殺し屋ゴンは、ある時殺害予定人物の小さな娘ユミを誤射し殺してしまいます💡 そのことが頭から離れず、心の葛藤に悩み続けるゴン そんな中で組織がゴンに出した次の指令は、ソウルにある会社の女性役員モギョンを殺せというものでした💡 準備を進める中、実はモギョンはユミの母親であることを知るゴン いったんは彼女を殺そうとしますが、娘の死の痛みを引きずる彼女を見て殺すことができなくなります 組織はゴンが寝返ったと判断し、ゴンの組織のかつての仲間である凄腕の刺客を送り込みますが... 悲惨な幼少期を送り殺し屋となったゴンの鋭い眼光はまさに鬼、別格の凄み💡 中盤、マンションを舞台にしたナイフと銃による壮絶な攻防も特筆に値する見せ場の一つです💡 そしてモギョンに、自分が娘を殺したと言えないゴンの心を最後に安らかにするのは、実に切ない選択なのでした...傑作です👑

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

